

一目でわかる業務概要 令和5年2月号 (12月内容) ハローワーク浜松

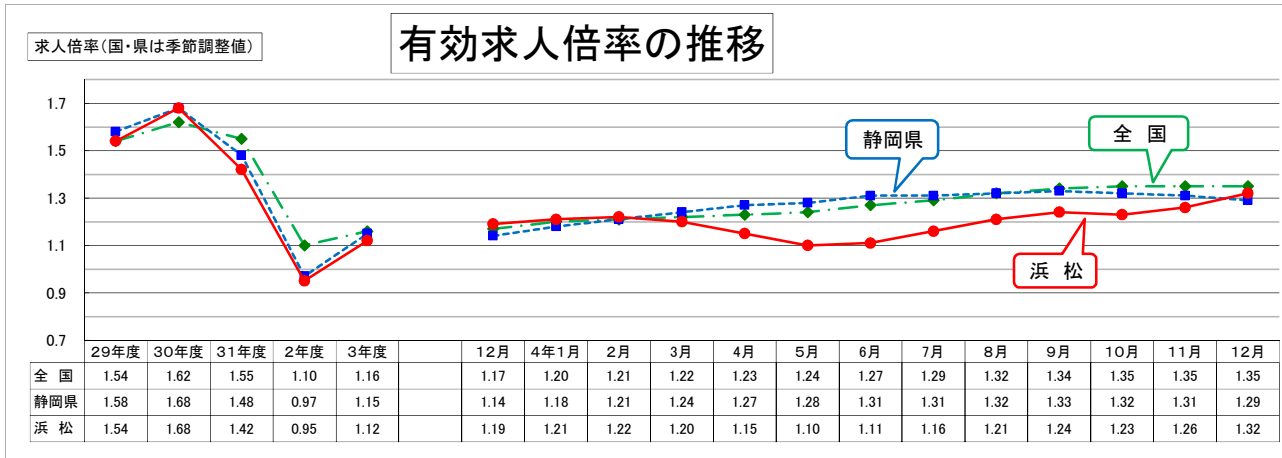
		対前年同月比
新規求職申込件数	1,749	1.9
月間有効求職者数	11,109	▲ 6.9
紹介件数	1,478	▲ 12.1
就職件数	483	10.5
新規求人数	5,141	4.9
月間有効求人数	14,650	3.3
有効求人倍率	1.32	0.13
就職率	27.6	2.1

		対前年同月比
適用事業所数	15,321	0.2
被保険者数	317,040	0.4
資格取得者数	3,096	▲ 9.2
資格喪失者数	3,507	7.9
離職票交付枚数	2,186	7.0
受給資格決定件数	605	20.3
受給者実人員	2,521	▲ 2.3
求職者給付支給総額(千円)	317,594	▲ 18.7

※数値は細江、浜北出張所、マザーズコーナー・わかものハローワークの取扱い分を含む。

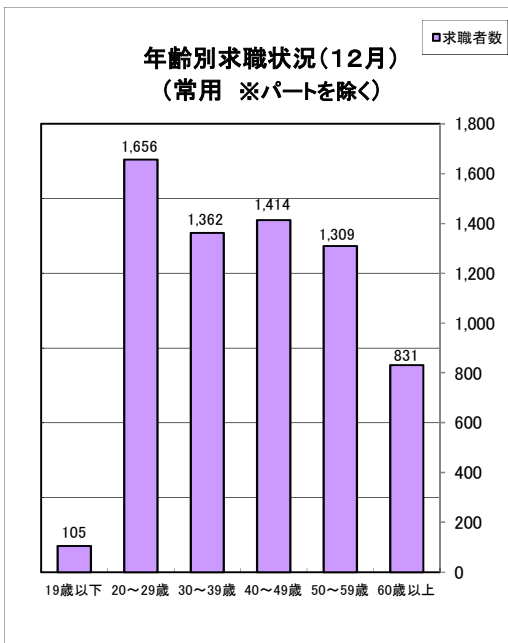
※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

※10月内容の数値は速報値であり、修正があり得る。



注1)「全国」「静岡県」の数値は季節調整済みの数値、「浜松」は実数値である。

注2)季節調整については、年に1度季節調整替えを行っている。なお、令和3年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。



★当所管内の労働市場の状況について(12月)★

＜県内の雇用情勢は、改善の動きに落ち着きがみられるものの、原材料やエネルギー価格の高騰が雇用に与える影響に注意が必要がある。＞

- 【求人】 ○新規求人数は5,141人、前年同月比4.9%増加
○月間有効求人数は14,650人、前年同月比3.3%増加
- 【求職者】 ○新規求職者数は1,749人、前年同月比1.9%増加
○月間有効求職者数11,109人、前年同月比6.9%減少
- 【有効求人倍率】 ○有効求人倍率は1.32倍
前年同月比0.13ポイント増加

○内閣府発表の月例経済報告(1月発表)

ー景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。ー
先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大に十分注意する必要がある。

○日本銀行静岡支店の県内金融経済動向(1月発表)

県内の景気は、新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響を受けつつも、基調としては持ち直している。
最終需要の動向をみると、輸出と公共投資は高水準で推移している。個人消費と設備投資は持ち直している。住宅投資は弱含んでいる。
こうしたもとで、企業の生産は、供給制約の影響を残しつつも、幾分持ち直している。
雇用・所得環境をみると、労働需給は改善傾向にあるほか、雇用者所得はなお弱さがあるものの、緩やかに改善しつつある。
消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回っている。

完全失業率(全国)(12月内容) 2.5%

完全失業者数(全国)(12月内容) 158万人

※完全失業率(全国)は季節調整値

ハローワーク浜松12月の利用者数

10,215人

一日平均

511人

管内人口(12月末現在)

851,104人